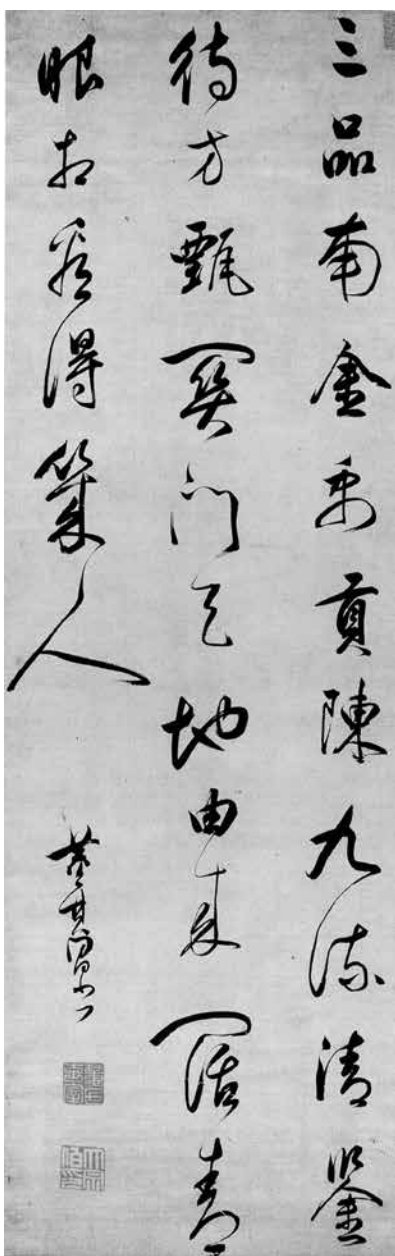


# 名蹟紹介

## 表紙紹介

### 魏靈藏薛法紹造像記

古陽洞北壁上段、仏龕の右側に刻された碑形の銘。魏靈藏と薛法紹の2人が釈迦像一軀を造り、皇道の永興、一門の繁栄、成仏を祈願したもの。筆路の暢達した、よく整った字形であるが、横画収筆部に筆をはねあげる隸法がみられ、北方系のやや古様の風格を示している。龍門の代表作の一つで、四品の中に数えられている。



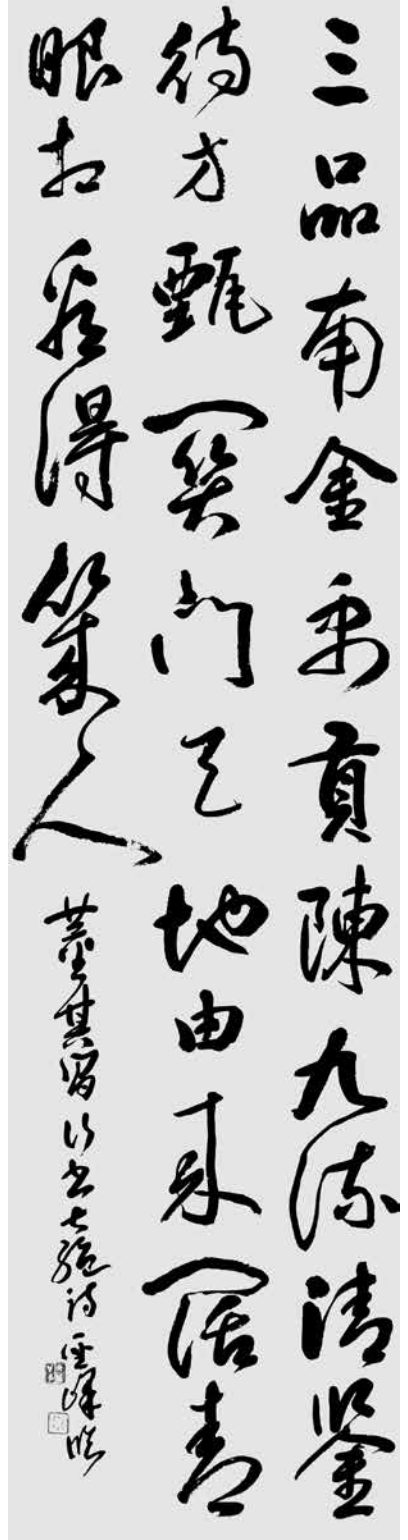
董其昌 (1555~1636)

### ◆行書七絶詩

江蘇省華亭県の人で、字は玄宰、号を思白。34歳に進士となり翰林院編修から累進して南京礼部尚書の大官になった。若い時から巧書・妙画をもって盛名を成した。

書は元の趙子昂と併称され、その円満にして奇矯のない書風は清の康熙・乾隆帝の書に影響を与え、また清の正統派文人画の祖といわれる王時敏が彼の門弟であった関係からも、董其昌の名声は清一代を支配した。

三品南金禹貢陳 九流清鑒待方甄 關門天地由來闊 青眼相看幾人



(136×35cm)

庭前に白く咲いたる椿かな (上島鬼貫)



(45×35cm)

董其昌は、筆法に非常に執着したと同時に、文字の格好にものすごく拘っていたようです。筆をキチッと立てるといふ姿勢とともに、筆法というものを無視して書いたら書にならないと。そんな董其昌の評を聞いて、いざ書に臨んでみると、なるほどと領けます。書線は澄んだ清流の如く爽やかだし、字形は変に誇張するわけでもなし、まさに心が洗われる思いです。

漢字は全て董其昌の集字からなるものです。ですが、作品の構想に合わせて、少しデフォルメしたり、ひらがなは、漢字と調和するよう調整しました。

※出品段級位 (漢字半紙部 新級～正師範)

※弘前の部分には支部名を書く

弘前

段級

對馬聖峰



扶 既

明 可

聖 蠲 益

推奨筆(花林)・推奨紙(無野半紙・桐)・推奨墨(玉品)



原帖



〔扶明聖既可蠲〕  
 (寔に) 明聖を扶くるなり。既に(茲の沈痼を)蠲く可く、

〔蠲〕 〔可〕 〔既〕 〔聖〕 〔明〕 〔扶〕

扶の1画目は短く、縦画はその右側を通り背勢に、3画目は左に張り出す。旁の3画目は途中まで垂直に、下部はらいで広がりをつくる。

偏と旁の幅は同じくらいで、横画は同方向に右上げにする。内部の・(骨法)は接筆しないように。

1画目の書き出しの位置に気を配り、耳は余白を広くゆつたりとつくる。王の1画目は左にはらい、最終画は覆勢にして堂々と安定させる。

偏は縦長に、旁は下部で広がる。旁の横画の長さ最終画の方向に注意する。

1画目は右上がりに長く、口は左上部に位置して下部の余白を広くとる。最終縦画は重厚にしっかりと、右側は十分あける。

偏の右側を縦に揃え、細部余白はほぼ均等にする。旁は太い線と細い線を使い分け、大きくなりすぎないように留意。

※出品段級位 (漢字半紙部 新級～正師範)

※弘前の部分には支部名を書く

弘前

段級

對馬

聖峰



秋 婦  
然 蘇  
正 子

推奨筆(花林)・推奨紙(無野半紙・桐)・推奨墨(玉品)



原帖



〔婦蘇子愀然正〕 婦を(泣かしむ)。蘇子愀然として、(襟を)正して

〔正〕 〔然〕 〔愀〕 〔子〕 〔蘇〕 〔婦〕

偏は細めにさわやかに、下部を広くあける。旁は太めに力強く、方向や長さに留意し、最終画はうねりながら筆圧をかける。

上部は広々と、魚は太細の変化をつけて下の横の部分は細い線で左に張り出す。禾は充実させて。

前傾の形になり、1画目始筆はうちこみ強く。左への動きを大きくする。

偏の余白を広くとる。秋は偏より高いところから書き始め、1画目の入筆は力強く、筆意を通して密にまとめる。

左への張り出しに注意し、概形は不等辺三角形になる。筆の鋒先と腹を使い分けてリズムカルに運筆する。

全体に横広に形づくり、右への動きを出す。左の縦の部分は前画から受けて入り、2つの折れはしっかりと方向を変えて勢いよく運筆する。

※出品段級位 (漢字半紙部 新級～正師範)

※弘前の部分には支部名を書く

龍吟  
帝鳥白

弘前

新級

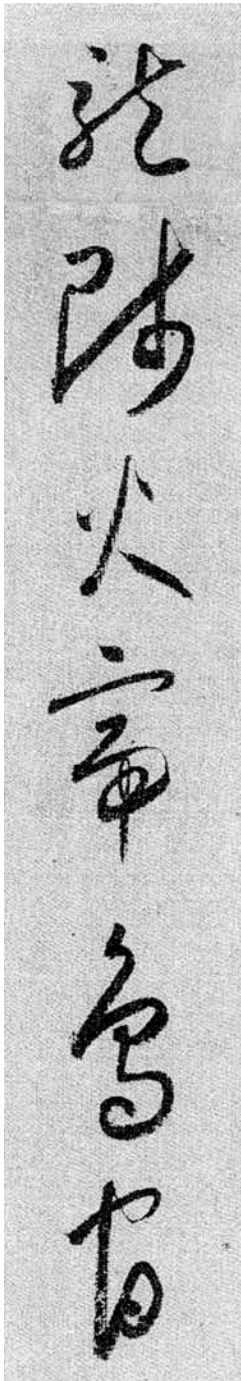
中井嶺曉



推奨筆(四海)・推奨紙(無野半紙・桐)・推奨墨(玉品)



原帖



〔龍師火帝鳥官〕  
りゅうし しかてい ちょうかん じんこう  
 龍師火帝、鳥官（人皇。）

〔龍〕 〔師〕 〔火〕 〔帝〕 〔鳥〕 〔官〕

概形はほぼ四角形になる。偏と旁の間はゆつたりと広くとり、旁は横の部分の方向を変化させる。

縦長に形づくり、左右の縦の微妙な方向の違いに配慮する。偏から旁への斜画は太めの線で、終筆は方向に注意してのびやかに。

全体に不等辺三角形にまとめ、上部の2ヶ所は一度とめてから、最終画は右に張り出す。

上部は疎に、下部は密になる。下部の位置に気を配り、回転部分は単調にならないように緩急をつける。

全体に縦長の造形。余白の広狭に留意し、ゆつたりと運筆する。

書き出しは強い右上がりになり、縦の部分を長く。下部は動きが小さいが、白が潰れないように留意する。

※出品段級位 (漢字半紙部 新級～正師範)

※弘前の部分には支部名を書く

弘前

段級

對馬聖峰



張鳳

挾孝

屬蕪

推奨筆(四海)・推奨紙(無野半紙・桐)・推奨墨(玉品)



原帖



〔鳳孝廉張掖属〕 (祖父) 鳳は、孝廉・張掖属

〔鳳〕 〔孝〕 〔廉〕 〔張〕 〔掖〕 〔属〕

凡の右下へいく部分は主画なので大胆に力強く。中の部分は鋒先で細めに、横の間隔はほぼ均等にする。

2画目と4画目が繋がっているようにも見えるが、この筆順で書いた。長い横の部分は細線ですつきりと軽やかに。子の位置に注意する。

凡の左はらいの部分は筆圧をかけてどつしりと、押し込んでね上げる。兼は中心より右へ配置し、画が混んでいるところは細線で。

横方向の動きに気を配る。傍の下部は曲線で滑らかに、偏と傍のバランスを考えてまとめる。

偏は幅が狭く、傍は広い。夜の筆順と余白に留意し、下部を重くして安定させる。

3画目は筆圧十分に、終筆は押し込んで上げる意識で止める。中の部分の横は水平にし、間隔に注意する。

※出品段級位 (漢字半紙部 新級～正師範)

◎19頁に部分解説があります。

推奨筆(天開)・使用紙(中字用半紙)・推奨墨(玉品)

楷・行・草の三体字典からとっています。

弘前 弘前 弘前 弘前 弘前 弘前 弘前	鉦	鉦	鉦
	構	構	構
	綱	綱	綱
	醇	醇	醇
	稿	稿	稿
	興	興	興
	衡	衡	衡

※弘前の部分には支部名を書く

※出品段級位(調和体部 新級～正師範)

◎19頁に部分解説があります。

推奨筆(からまつ)・使用紙(調和体用紙)・推奨墨(書芸真竹(固型))

大変立派な緑の鉢植えをさつそく

家族の集まるリビングに飾らせて

いたゞきました大きなグリーンがある

だけで空間が生きくとしつきます

弘前 段級 三浦景秀



読み―大変立派な緑の鉢植えをさつそく 家族の集まるリビングに飾らせて

いたゞきました大きなグリーンがある だけで空間が生きくとしつきます

(◎印墨つき)

※弘前の部分には支部名を書く

# 漢字条幅漢詩課題

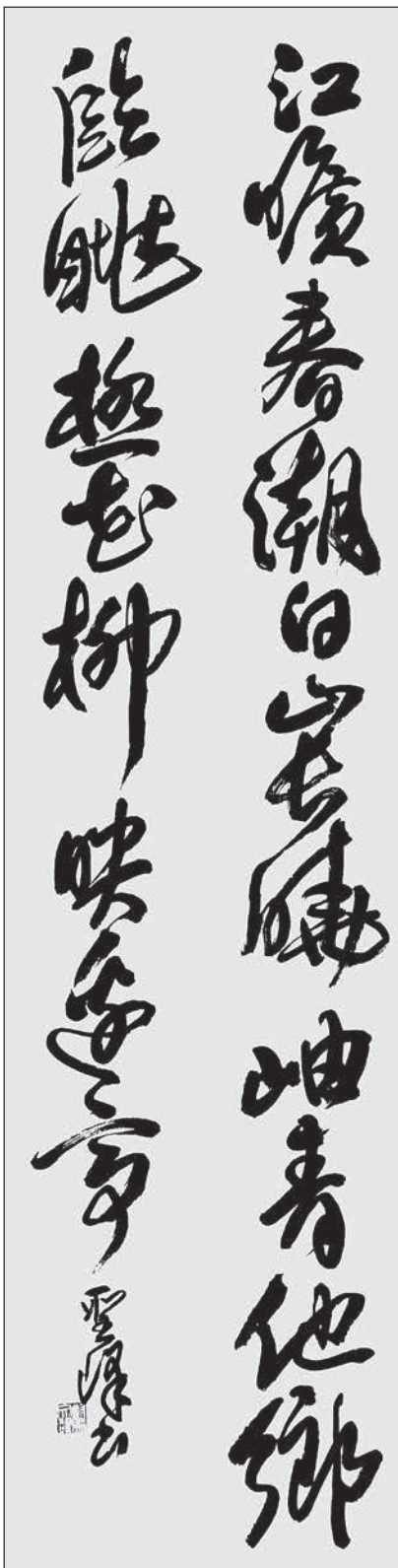
## A

漢字条幅部  
※出品段級位(新級〜正師範)

どんな芸術にも空間に対する感覚は大切な要素です。とりわけ白と黒のみで表現する書にとつて、白すなわち空間の大切さは今までの解説でも多く述べられています。書の場合、それは文字造形における白であったりしますが、要するに空間に対する感性が大切な要素でしょう。空間と線質と造形が見るものにとつて様々な感じを与え、作品の多様さを見せてくれます。

理屈でわかっていても、どう表現するかは大変難しいことです。結局良い書を見、鑑賞すること以外にはないようです。他に書に関する出版物を見ること、そして「こんな書もあるのか」といった段階から、「こんなものを書いてみたい」と思うようになり、それを研究することの中

## 對馬聖峰書



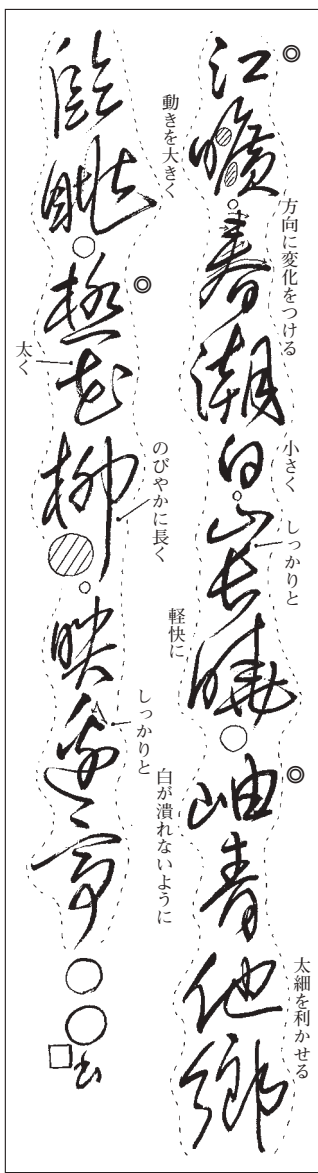
半切(約136×約35センチ)

半切検定課題原寸大手本  
500円で販売しております。

〔江曠春潮白 山長曉岫青 他鄉臨眺極 花柳映邊亭〕王勃 (◎印は墨つぎ)  
読み―江曠く春潮白く、山長く曉岫青し。他鄉臨眺極り、花柳辺亭に映す。  
意味―江は広く春の潮は白く寄せ、山は長く曉の岫は青い。故郷を離れて見はるかすと、紅い花と緑の柳が片隅の亭に映える。

### 注意

漢字半紙部門と段級位は異なりますので漢字条幅部門の段級位をご記入下さい。なお、初めて出品の方は新とお書き下さい。支部名・段級位・氏名は鉛筆で左下に記入下さい。



推奨筆(白神)・推奨紙(漢字条幅用紙半切)・華心箋・推奨墨(書芸云呉竹(固型))

漢字条幅臨書課題

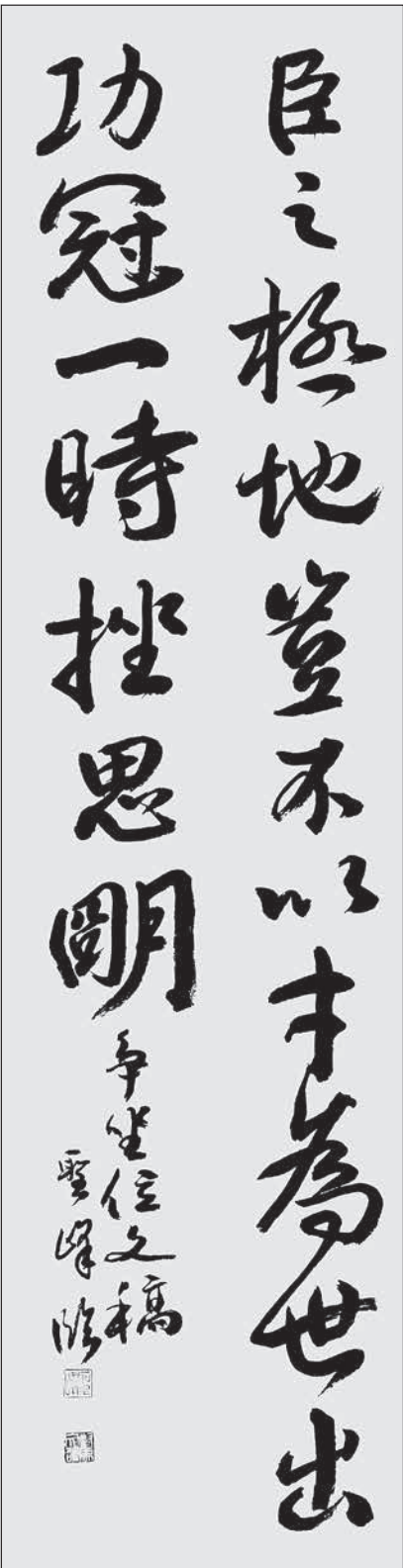
B 漢字条幅部

※出品段級位(新級)正師範)

◆顔真卿(争坐位文稿)

Aは空きを作ることに。特に偏と旁からなる文字は、下部を揃えないように。Bの連綿線は、前字からほぼ同じ太さにする。本来なら虚画なので細い線で繋ぐが、ここでは実画のように。Cはご覧のように偏と傍の文字を全て囲ってある。これは懐を広くし、ゆったりした形を示す。その中でもAの余白を忘れずに。

對馬聖峰臨



〔臣之極地 豈不以才為世出 功冠一時 挫思明 争坐位文稿〕 (◎印は墨つぎ)

読み―(人臣の極地に当たる)豈に才は世出たり、功は一時に冠たるを以てにあらざるや。思明の(跋扈の師を)挫き、意味―(人臣の最高位に)おられるのは、才能が世にあらわれ、功績が一世に冠絶しておられるからではないでしょうか。史思明の(跋扈の軍隊を)くじき、

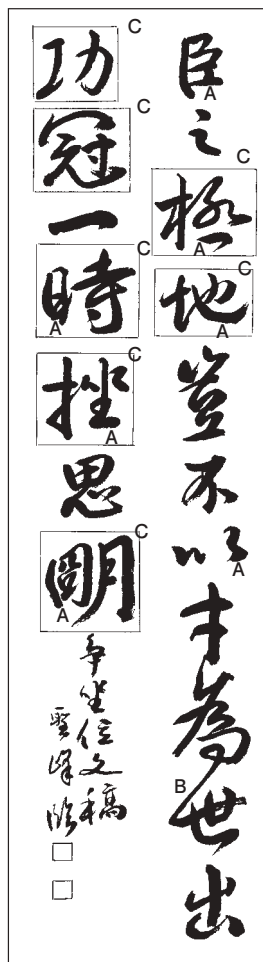
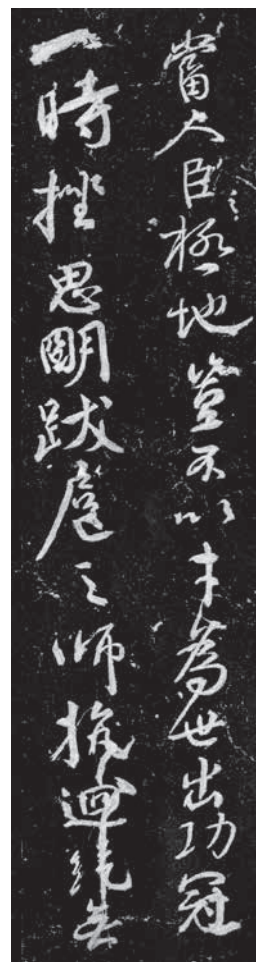
推奨筆(神技北斗)・推奨紙(漢字条幅用紙半切)・梅花箋・推奨墨(書芸真竹(固型))

揮毫動画を配信しています詳しくはP39をご覧ください



注意 漢字半紙部門と段級位は異なりますので漢字条幅部門の段級位をご記入下さい。なお、初めて出品の人は新とお書き下さい。支店名・段級位・氏名は鉛筆で左下に記入下さい。

半切(約136×約35センチ) 半切検定課題原寸大手本 500円で販売しております。



# 漢字条幅初等課題

漢字条幅部  
※出品段級位(新級〜準三段)

新芽が芽吹く季節となりました。新年度の目標にコンクールや地区展、また半切作品になりますが、鷹揚展に挑戦してみても如何でしょうか？  
 展覧会活動は沢山の学びになります。是非ワクワクしてご参加下さい。  
 今月の構成は上3字、下2字、春の陽気の様に軽やかに書きましょう。

## 〔満〕

・偏と傍の間を広くあける。気の縦画と満の傍との関係性を保持して。

## 〔梅〕

・墨継ぎ、満より小さめに。傍は偏より高いところから書き、中の部分の余白が美しく残るように。

## 〔花〕

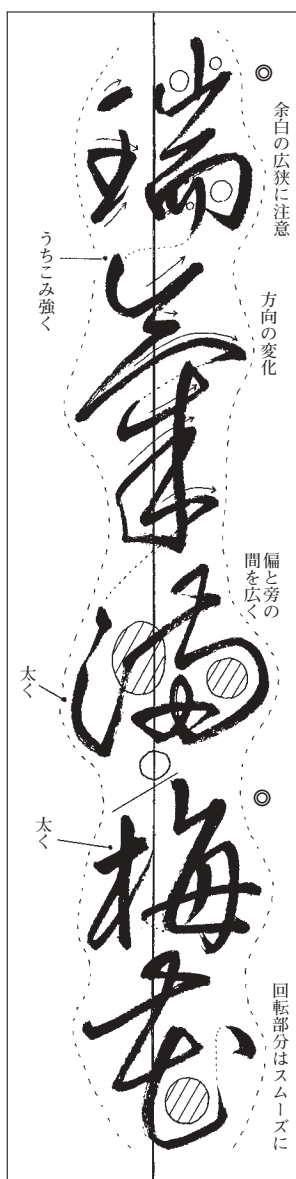
・横画の変化に気をつけ、転折部分ではしっかりと方向を変えてスムーズに運筆する。

## 〔瑞〕

・大きくならない様に控え目に。  
 偏は小さく、旁は余白の広狭に注意する。

## 〔気〕

・瑞の最終画から続ける気持ちで強く入筆し、草体でリズムカルに縦長に。上部と下部の横方向に変化をつける。



推奨筆(心月)・推奨紙(四半切華心箋)・推奨墨(書芸真竹(固型))

津島春汀書



四半切 (約68×約17.5センチ)

初等課題原寸大手本300円

〔瑞気満梅花〕 禅語

読み―瑞気梅花に満つ

意味―めでたい春の気が梅の花に満ち、あたりが幸せに包まれている様子。

◎印は墨つき

### 注意

漢字半紙部門と段級位は異なりますので漢字条幅部門の段級位をご記入下さい。なお、初めて出品の人は新とお書き下さい。支部名・段級位・氏名は鉛筆で左下に記入下さい。

※出品段級位 (実用課題 新級～五段)

拝啓

拝啓

謹呈

謹呈

桜前線

桜前線

御車代

御車代

春暖の候

春暖の候

特別賞

特別賞

弘前段級

菅野華翠



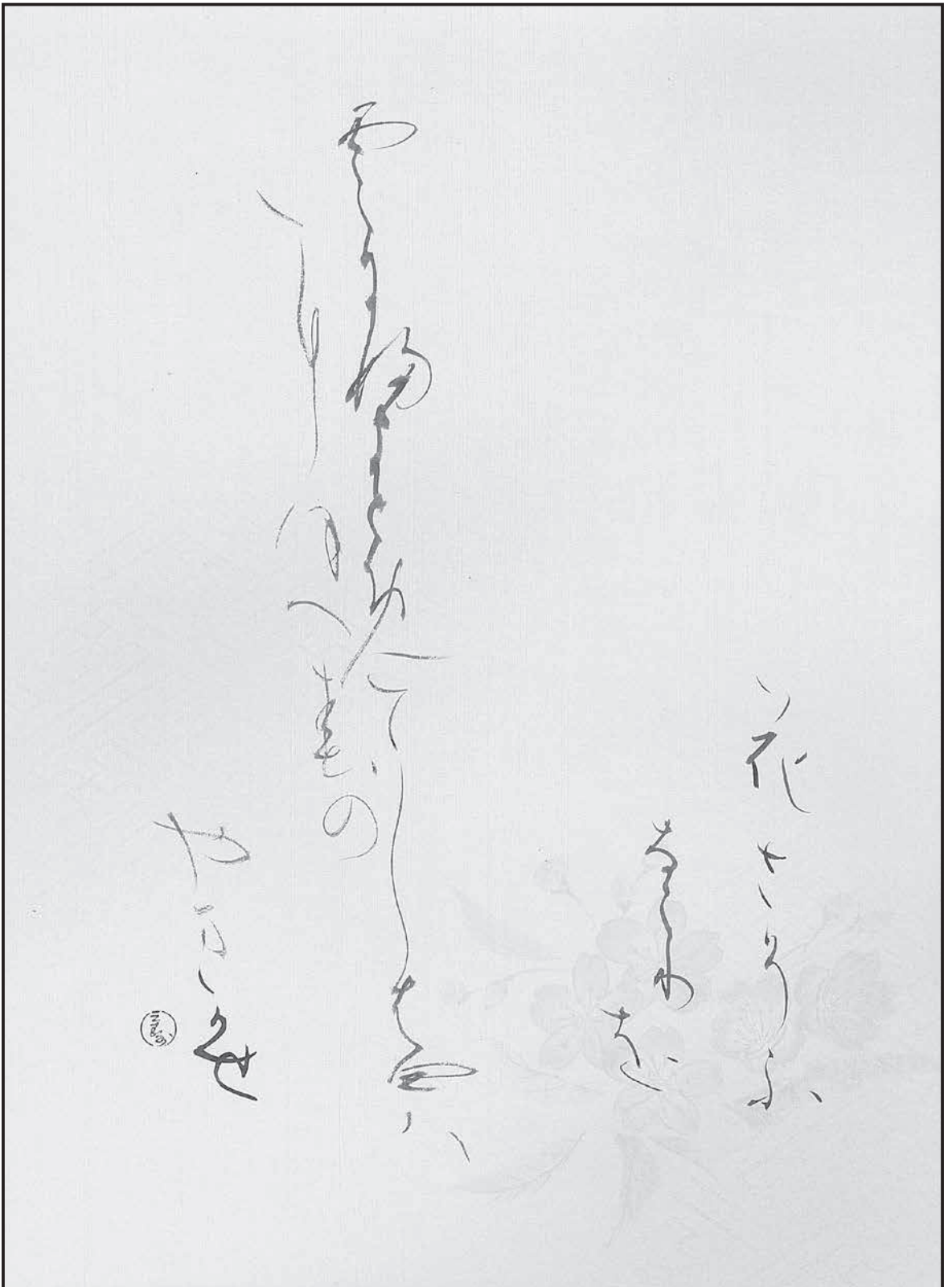
※弘前の部分には支部名を書く

「実用課題」は、段位認定証を発行しております。(支部長先生は支部長手帳のP33をご覧ください。)

※出品段級位 (かな半紙部 新級～正師範)

◎花さ曾ふ奈こ利を雲尔婦支と免てし者四八耳保へ春のや万可せ◎

(◎は墨つき) ※19ページに解説があります。  
推奨筆(南風)・推奨紙(かな用料紙)・推奨墨(みむろ)



読み―花さそふ名残を雲に吹きとめてしばしはにほへ春の山風(藤原雅経)  
意味―花を誘い散らす風の名残を、白雲に吹き留めて、せめてしばらくは花の美しい色を見せてくれ、春の山風よ。

注意↓支部名・段級位・氏名は鉛筆で左下に記入下さい。

# かな条幅課題

かな条幅部  
※出品段級位(新級〜正師範)

手本を見てすぐに書き出さず、原寸手本をお持ちの方は、壁に張って感じることから始めていただきたいと思います。できるだけ確に、全体感を心静かに把握し、全体から受ける情景をよみとることが大切だと思います。

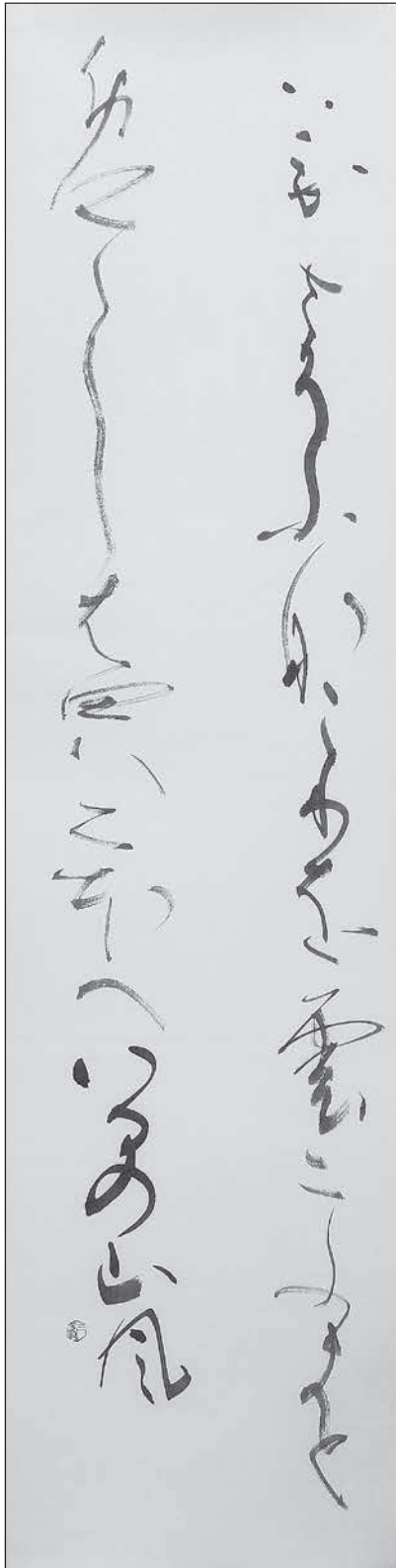
書く前にしっかりと手本を眺め、どこに美しさがあるかを見つけることから始め、それから全体構成している個々の造形や用筆運筆の技術をも読みとるくらいまで書き込んでほしいものです。できた作品は誤字がないかチェックし、ここでも壁に張って全体を見て反省しましょう。

また、筆や紙との相性で随分線も左右します。先生のねらいをつかむ努力が必要です。



推奨筆(雅)・推奨紙(かな条幅用紙半切・桂風)・推奨墨(のぎく)

## 湯川三壽先生書



半切(約136×約35センチ)

半切検定課題原寸大手本  
500円で販売しております。

〔花さそふ那こ利を雲二ふ支と免てし者四八二本へ八るの山風〕  
読み—花さそふ名残を雲に吹きとめてしばしはにほへ春の山風(藤原雅経)  
意味—花を誘い散らす風の名残を、白雲に吹き留めて、せめてしばらくは花の美しい色を見せてくれ、春の山風よ。

(○含墨)

### 注意

かな半紙部門と段級位は異なりますのでかな条幅部門の段級位をご記入下さい。なお、初めて出品の人は新とお書き下さい。  
支部名・段級位・氏名は鉛筆で左下に記入下さい。

4月号		ペン楷書課題 (ペン部)			三浦景秀書	
支 部 名						
学 年						
段 級 位	初めての人は新と書く					
氏 名						
	ビル・ゲイツ	言えない	独創的な発想とは	アイデアでなければ	人に笑われるような	少なくとも一度は

※課題執筆と同じペンを本会で取扱っております 定価550円

(万年筆・プレピール・硬筆用紙6行使用)

4月号		ペン行書課題 (ペン部)				三浦景秀書																																
支 部 名		言	え	な	い	独	創	的	な	発	想	と	は	アイ	テ	ア	で	な	け	れ	ば	人	に	笑	わ	れ	る	よ	う	な	少	な	く	と	も	一	度	は
学 年																																						
段 級 位		初めての人は新と書く																																				
氏 名	ビル・ゲイツ																																					

※ビル・ゲイツ(1955)：アメリカ合衆国の実業家・マイクロソフト創業者の一人。

※課題執筆と同じペンを本会で取扱っております 定価550円

(万年筆プレピール・硬筆用紙6行使用)

